

第1回 労働講座

イントロダクション

働き方の選択肢を広げてみると？

9月23日 コーディネイター

経営学部 早川佐知子

本日の内容

(1)この授業について

(2)未来の働き方はどのように変わる？

(1)この授業について

- 『学部間共通総合講座シラバス 2021年度』を参照のこと。
- Oh-o! Meijiを通じて、必要事項を連絡する場合がありますので注意すること。
- 本講座のウェブサイトに関連事項や配布資料、映像、リンクなどを掲載するので、随時閲覧すること。
<http://www.isc.meiji.ac.jp/~labored/kifukoza/rodokoza2021>

授業のスケジュール(前半)

回	日付	タイトル
1	9月23日	イントロダクション
2	9月30日	ゲスト・トーク OB・OGの働き方
3	10月7日	職場のリアル(1) 現役人事部が語るキャリア・ルート
4	10月14日	職場のリアル(2) なぜ過労死はおきたのか？
5	10月21日	職場のリアル(3) 労働組合の活動
6	10月28日	職場のリアル(4) 働く人たちの貧困
7	11月11日	労働者の権利(1) 労働法Q&A

授業のスケジュール(後半)

回	日付	タイトル
8	11月18日	労働者の権利(2) 職場の安全とハラスメントQ&A
9	11月25日	労働社会の改革(1) 日本の労働社会の成り立ち
10	12月2日	労働社会の改革(2) ジェンダーの視点から考える
11	12月9日	労働社会の改革(3) 安心して働ける雇用と労働政策
12	12月16日	労働社会の改革(4) 「自由な働き方」の落とし穴
13	12月22日	労働社会の改革(5) 外国人労働者
14	1月13日	総括／ふりかえり

1. 講義の内容について

講義の流れ(シラバス参照)

- OB・OGの職場の経験をとおして、就職先での働き方について知る。
- 学生アルバイトのアンケート結果から、労働者の権利と問題解決の方法について考える。
- 職場の問題を社会的に捉え、労働組合の役割について考える。
- 日本の労働社会の改革の方向について考える。
- レポート提出

ゲスト講師について

- 第2回目(9月30日): 2人の社会人(1人は明治大学経営学部OB)
- 第3回目(10月7日): 大手企業の人事部マネージャー

(シラバスでは初回のイントロダクションで、ビデオ『OB・OGインタビュー』を上映とあるが、今年度の上映は無し)

講義の寄付者について

- 労働講座企画委員会(労働組合や労働NPOで構成)

2. オンライン講義について

- 講義の動画とパワポ(PDF)を9月23日から毎週木曜日13:00までにOh-o! Meijiにupする。
- 受講学生は、出席確認を兼ねた感想文を提出する。その書式ファイルは、本イントロダクションとともにOh-o! Meijiにupするので、毎講義の感想文はこの書式ファイルを使用のこと。
- 感想文は、純正wordまたはpdfで作成し、毎回レポートとしてOh-o! Meijiに提出する(純正wordで作成しないと、Oh-o! Meijiにupされたレポートをダウンロードできないことがある。その場合は、評価対象外とする)。
- 感想文の提出期限は、講義用プリントupから最短で48時間後の、毎週土曜日13:00である。期限を厳守されたい。

3. 成績評価について

- 毎回の講義ごとに、出席確認を兼ねた感想文を提出する。各4点×14回で計56点。
- 最終課題レポートは44点で評価する。課題と締め切りは、11月18日までに発表する。なお、シラバス記載の参考書、または他の書籍を1冊以上読んで、レポートを作成すること。

参考図書

- 濱口桂一郎『若者と労働:「入社」の仕組みから解きほぐす』(中公新書ラクレ・2013年)
- 濱口桂一郎『働く女子の運命』(岩波新書・2015年)
- 森岡孝二『雇用身分社会』(岩波新書・2015年)
- 中澤誠『ルポ過労社会』(ちくま新書・2015年)
- 横浜市男女共同参画推進協会編著『シングル女性の貧困』(2017年)
- 石田真ほか『大学生のためのアルバイト・就活トラブルQ&A』(旬報社、2017年)
- 『ポケット労働法』(東京都産業労働局)
- 小熊英二『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』(講談社現代新書・2019年)
- 大沢真理『企業中心社会を超えて—現代日本をジェンダーで読む』(岩波現代文庫・2020年)

Q1 将来の仕事をどのように 考えていますか？

- 具体的に就きたい職業
- 人生のキャリアプラン
- どこで働く？
- どんなふう to 働く？
- 働くうえで重視していることは？
- 仕事を選ぶうえで重視していることは？

(2) 未来の労働社会について考える

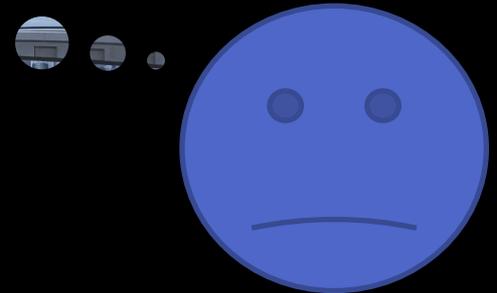
R. グラットン(2012)

『WORK SHIFT』(プレジデント社)より



Q2

未来の労働社会はどのように
変質しているだろうか？



未来を形作る要因①

テクノロジーの変化

- テクノロジーが飛躍的に発展する
- 世界の50億人がインターネットで結ばれる
- 地球上の至るところで「クラウド」を利用できるようになる
- 生産性が向上し続ける
- 「ソーシャルな」参加が活発になる
- 知識のデジタル化が進む
- メガ企業とミニ起業家が台頭する
- バーチャル空間で働き、「アバター」を利用することが当たり前になる
- 「人工知能アシスタント」が普及する
- テクノロジーが人間の労働者にとって代わる

未来を形作る要因②

グローバル化の進展

- 24時間、週7日休まないグローバルな世界が出現した
- 新興国が台頭した
- 中国とインドの経済が目覚ましく成長した
- 儉約型イノベーションの道が開けた
- 新たな人材輩出大国が登場しつつある
- 世界中で都市化が進行する
- バブルの形成と崩壊が繰り返される
- 世界のさまざまな地域に貧困層が出現する

未来を形作る要因③

人口構成の変化と長寿化

- Y世代の影響力が拡大する
- 寿命が長くなる
- ベビーブーム世代の一部が貧しい老後を迎える
- 国境を超えた移住が活発になる

未来を形作る要因④

社会の変化

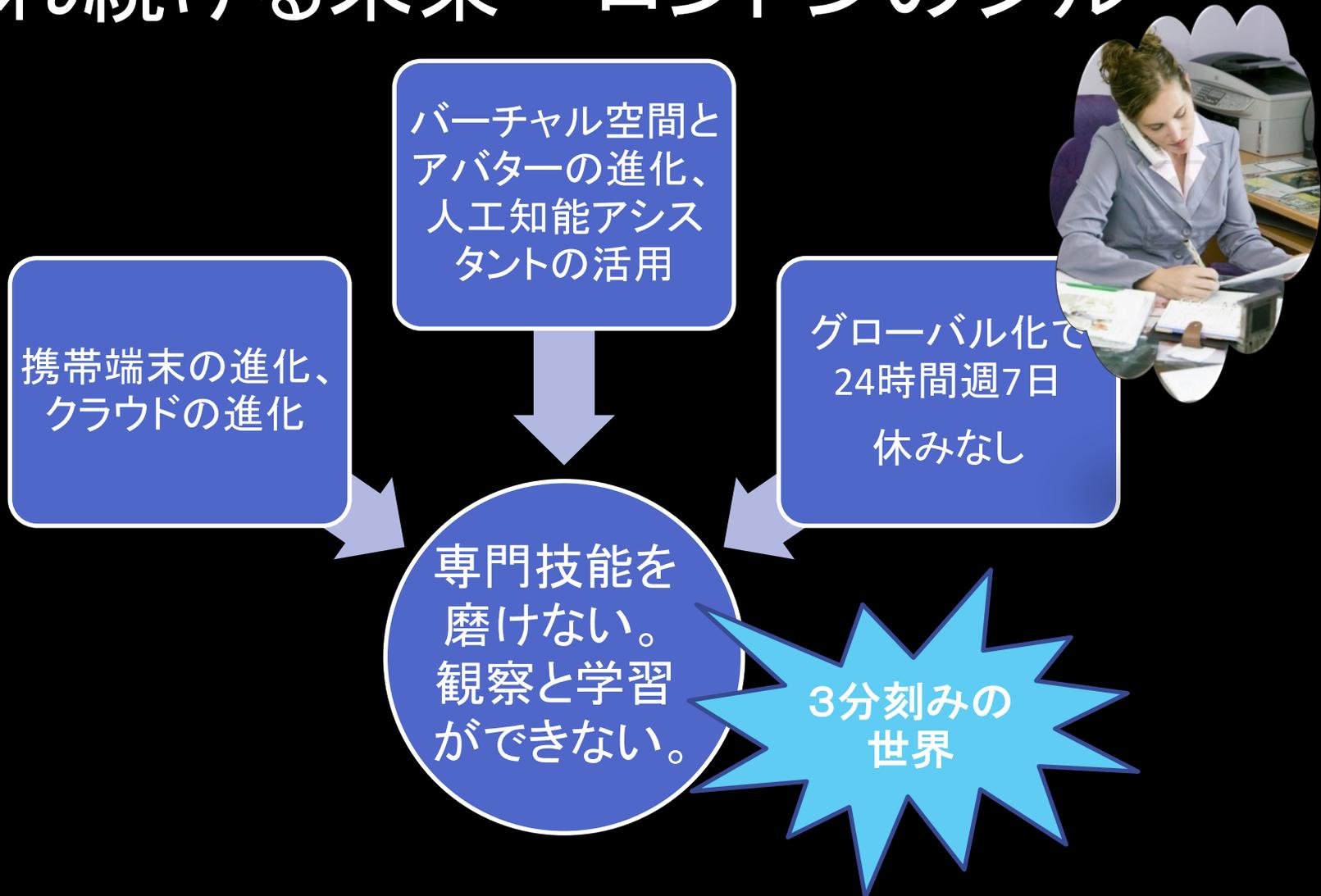
- 家族のあり方が変わる
- 自分を見つめなおす人が増える
- 女性の力が強くなる
- バランス重視の生き方を選ぶ男性が増える
- 大企業や政府に対する不信感が強まる
- 幸福感が弱まる
- 余暇時間が増える

未来を形作る要因⑤

エネルギー・環境問題の深刻化

- エネルギー価格が上昇する
- 環境上の惨事が原因で住居を追われる人が現れる
- 持続可能性を重んじる文化が形成され始める

シミュレーション①いつも時間に追われ続ける未来ーロンドンのジル



シミュレーション②孤独にさいなまれる 未来ームンバイのローハン



家族の形態が変化し、
別居形態が増える

グローバル化によりメ
ガシティに住む人が増
える

テクノロジーの
進化により自宅で
仕事が可能に

エネルギー価格の上
昇により、
海外の仕事相手
や家族に
会いにいけない

孤独に
さいなま
れる

シュミレーション③ 繁栄から締め出される未来ーオハイオ州のブリアナ



不安から来る絶え間ない
自己アピール

バブルの形成と崩壊の繰り返し

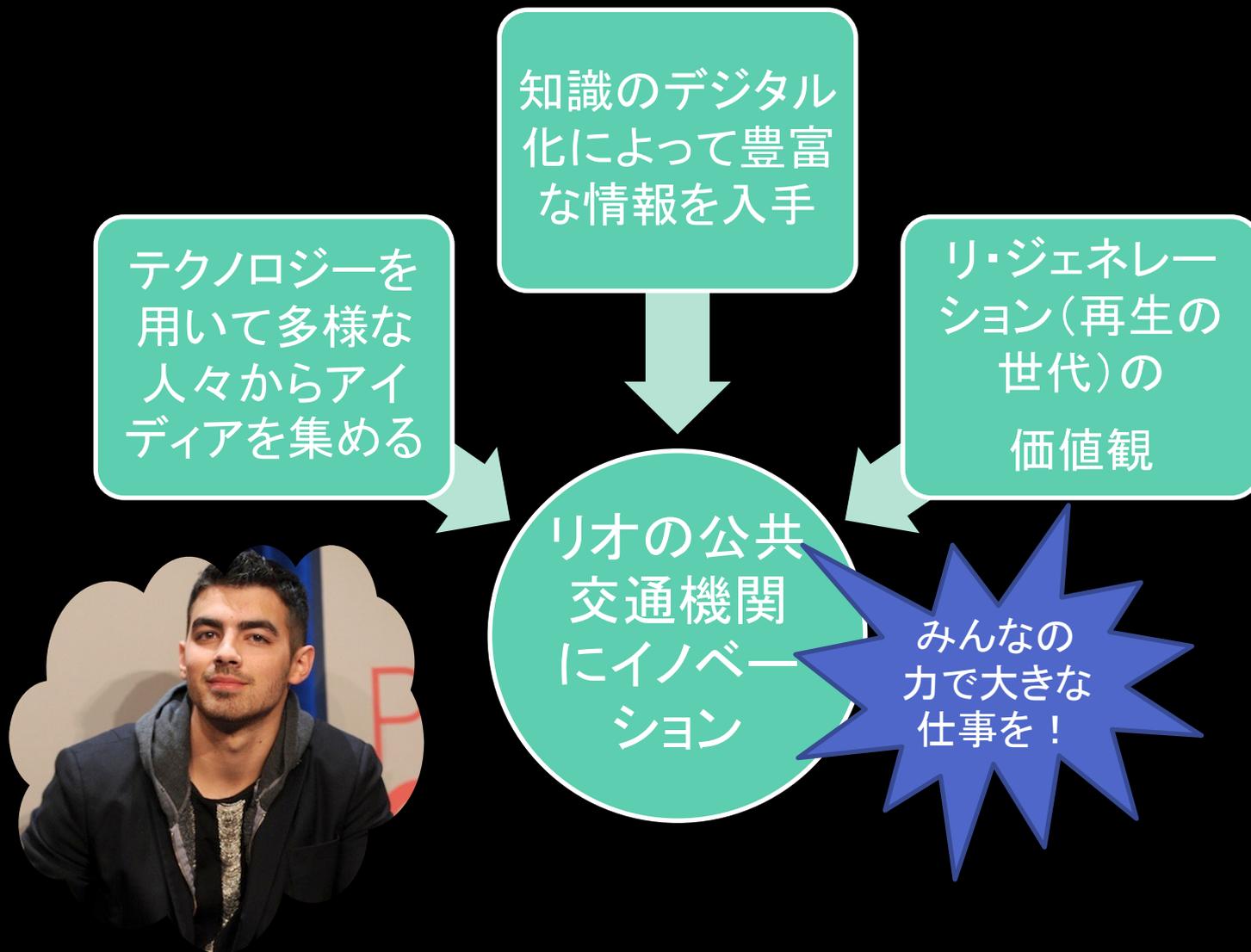
勝者総取りによる経済格差の発生

優秀な人材は容易に移住、
それ以外は残される

他人への不信感、劣等感、コミュニティの崩壊

先進国にも新しい貧困層が！

シュミレーション④コ・クリエーションの 未来ーリオのミゲル



シミュレーション⑤積極的に社会と関わる未来ーチッタゴンのジョンとスーザン

Y世代の価値観：経験と学習機会の重視

自分を見つめ直す傾向



インターネットの発達により、遠くの世界の人にも共感

女性の地位の向上、新しい夫婦関係

自発的に選んだオリジナルの人生

社会活動を重視

シュミレーション⑥ミニ起業家が活躍する未来ー河南省のシュイ・リー

プロジェクト単位
の水平な
関係を構築

人材輩出大国と
しての中国

テクノロジーの
進化により低コ
ストで
情報交換

長寿化によって
生涯現役

夢中になれる仕
事で自己表現、
独立して
いつまでも
働ける



『WORK SHIFT』の提案

ゼネラリスト

スペシャ
リスト

孤独に競い
合う生き方

他の人と関わり協力し
合う生き方

大量消費志
向のライフス
タイル

意義と経験を重んじる
ライフスタイル



コロナによる変化も
含めて、もう一度
未来の労働について
考えてみましょう

